

「平成28年10月12日に都内で発生した停電を踏まえた
対応に関する報告」の提出について

平成29年3月7日
北陸電力株式会社

当社は、昨年11月16日、経済産業省より、昨年10月12日に東京都内で発生した停電を踏まえた地中送電設備への対応に関する指示文書を受領しました。

(平成28年11月16日お知らせ済み)

本日（3月7日）、受領した指示を踏まえ、地中送電設備への対応に関する報告書を同省へ提出しましたのでお知らせいたします。

報告書の概要は別紙のとおりです。

以 上

別紙：東京都内で発生した停電を踏まえた対応に関する報告概要

東京都内で発生した停電を踏まえた対応に関する報告概要

	指示内容	報告概要
1. 緊急点検	平成 28 年 10 月 13 日付けで指示した高経年化による劣化が疑われる可燃性の地中送電ケーブルの緊急点検に関し、一部未実施の箇所がある場合は、これを速やかに完了させ、その結果を報告すること。	・地中送電 OF ケーブル（以下 OF ケーブル）について点検を実施し、異常がないことを、11 月 11 日（金）に経済産業省に報告済。
2. 火災防止対策	(1) 供給支障の防止(防火対策・消火対策) 地中送電設備の防火対策（防災シート等）・消火対策（自動消火設備等）が不十分な箇所について、本年度内に実施計画を策定の上、速やかに対策に着手すること。 (2) 火災の原因除去 地中送電ケーブルにおいて同種の事故が生じないように、最新の知見も取り入れながら点検方法や頻度を見直し、地中送電ケーブルの状態を適切に把握する体制を整備すること。点検等で把握した地中送電ケーブルの状態を踏まえ、ケーブルごとのリスクに応じ、計画的にその交換を行うこと。 上記について、本年度内に計画を策定し、速やかに着手すること。	(1) 防火対策・消火対策が不十分な箇所は無い。 (2) 防火対策・消火対策が不十分な箇所は無いことから、同種の事故が発生する箇所は無い。
3. 安定供給と国民負担抑制の両立	一般送配電事業者等各社との連携・アライアンスの下での効率的・効果的な改修等の実施に速やかに取り組むこと。	・ OF ケーブルに関する劣化特性調査ならびに診断技術の高度化に向け、電力各社が協力して研究を推進し、得られた最新知見を適時、保守計画に反映する。 ・ ケーブル規格の統一、およびケーブルメーカーとの中・長期工事量の共有により、施工体制を強化する。

※太枠線内は前回（平成 28 年 11 月 11 日）、既に報告済。

<p>4. 中長期的なリスク管理対策</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピックの開催などを見据え、地中送電設備に対するリスクを低減する観点から、冗長性の確保や防犯体制の一層の強化について、本年度内に検討を行い、速やかに対策に着手すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・洞道入口への特殊錠の採用や施錠多重化を実施している箇所があるが、これらの対策を水平展開して対策強化を図る。
<p>5. 指示への対応状況の報告</p>	<p>1～4で示した指示への対応状況及び今回の事故を受けて自主的に検討した対策の実施状況について、本年度内に経済産業省に報告すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・OFケーブルについて「油中ガス分析」を実施し、異常がないことを確認した。 ・OFケーブルについてCVケーブルへの改修計画を策定した。 (9年以内に改修完了予定)

以 上